



# 全体会

10/11(木)

新城文化会館 大ホール

## パネルディスカッション

過疎地域でともに歩む ～外からのサポートと内なる価値～



「過疎地域でともに歩む ～外からのサポートと内なる価値～」

コーディネーター

まちづくりプロデューサー

福井 功

ふくい いさお

鳥取県生まれ、千葉県在住。ふそう銀行（現：山陰合同銀行）退行後、上海で数社の合併企業役員を務める。農商工連携による新商品開発、デザインなどを手がけ、まちづくりプロデューサー、デザイナーとして、全国各地での町づくり、観光メニュー開発などに携わる。現在、農水省6次産業化ボランティアプランナー、全日本薬膳食医情報協会・副理事長、鳥取県政アドバイザースタッフなど多方面で活躍し、JAPAN FM NETWORKのFM番組「News Delivery」でコメンテーターを務めている。



パネリスト

慶應義塾大学総合政策学部准教授

飯盛 義徳

いさがい よしのり

佐賀県生まれ。慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程修了。博士（経営学）。1987年、上智大学卒業後、松下電器産業株式会社入社。1992年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学。1994年、飯盛教材株式会社入社。1999年、NPO法人鳳雛塾設立。2002年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任。2008年から現職。総務省・過疎問題懇談会委員、総務省・地域づくり懇談会委員、総務省・人材力活性化研究会座長、国土交通省・奄美群島振興開発審議会委員などを務める。主著に『「元氣村」はこう創る』、『社会イノベータ』など。



studio-L代表 京都造形芸術大学教授

山崎 亮

やまざき りょう

愛知県生まれ。まちの課題を、まちに住む人たちが解決するための方法を提案する、コミュニティデザインという仕事に携わる。まちに住む人たちとワークショップを行い、その地域の将来を考える総合計画づくりを行う。建築やランドスケープのデザイン、公園や駅前などの公共的な空間を使いこなすためのプログラムの仕組みを考えたり、プロジェクトの計画づくりにも携わる。関わる人が、常にそのプロジェクトを通じて、積極的にまちへと関われるチームを生み出すことを目指している。離島や地方自治体、公園からデパートや駅前、病院など、仕事のフィールドは多岐にわたる。



新城市長

穂積 亮次

ほづみ りょうじ

東京都生まれ。1997年に有限会社穂積林業を設立し、代表取締役役に就任。2004年、鳳来町長選に当選。2005年10月に鳳来町は、新城市、作手村と新設合併。同年11月、「新城・希望都市」を標榜し新城市長に当選。第2期では「新城版・こども園」「医療再生」「新たな産業育成」を重点事業に掲げ、2009年11月に再選。現在、市民自治社会の実現に向けたまちづくりに邁進中。



秋田県企画振興部地域活力創造課活力ある農村集落づくり支援室長

小野 一彦

おの かつひこ

秋田県生まれ。1982年秋田県庁入庁。2009年集落対策の専任組織として発足した「活力ある農村集落づくり推進チーム」のリーダーに就任、改組を経て現在に至る。この間、全県の市町村の担当課長等と集落の自立活性化対策の協働実践組織として「秋田県高齢化等集落対策協議会」を組織、協議会座長に就任。県内52集落、約1,000戸を対象とし、県・市町村職員との戸別訪問による、大規模な集落点検を実施。その結果を生かし、集落が「自治組織として段階的に成長していくための総合的なサポート」という視点から、集落の段階に応じた効果的な支援を推進。



素材香房味蔵「耕すシェフ（地域おこし協力隊）」

安達 智子

あだち ともこ

神奈川県生まれ。NPO法人農家のこせがれネットワークの活動を通して、農家が愛情をこめて作った品質の高い食材を知ってもらうことの大切さを痛感。農業や料理を勉強したいと2年半務めた広告会社を退職し、耕すシェフとして、昨年10月より邑南町に定住。耕すシェフとして、今年の6月より地元農家の作り手の魅力を消費者に発信する農家Liveや、生産者マルシェを企画・実施し、農家と消費者をつなぐ場づくりをプロデュースし続けている。

